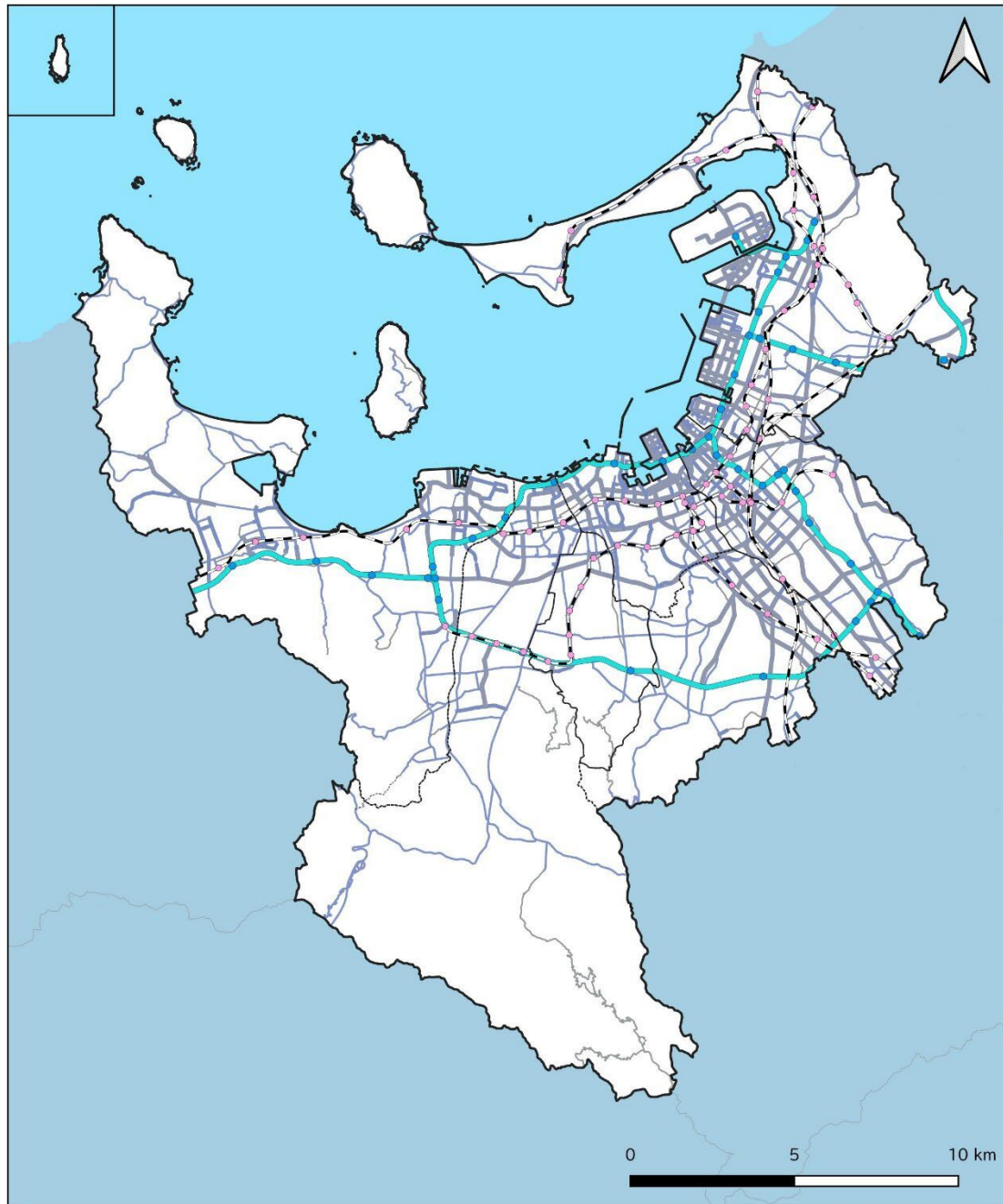


図 91 2050 年の将来推計総人口 (250mメッシュ)



凡 例		
道路	高速道路	福岡市域
— 19.5m以上	● 高速道路接合部(IC・JCT)	福岡市行政区域
— 13m-19.5m未満	— 鉄道駅	
— 5.5m-13m未満	● 鉄道駅ポイント	
— 3m-5.5m未満	— 鉄道区間	
⋯ 3m未満		

図 92 道路・鉄道の整備状況

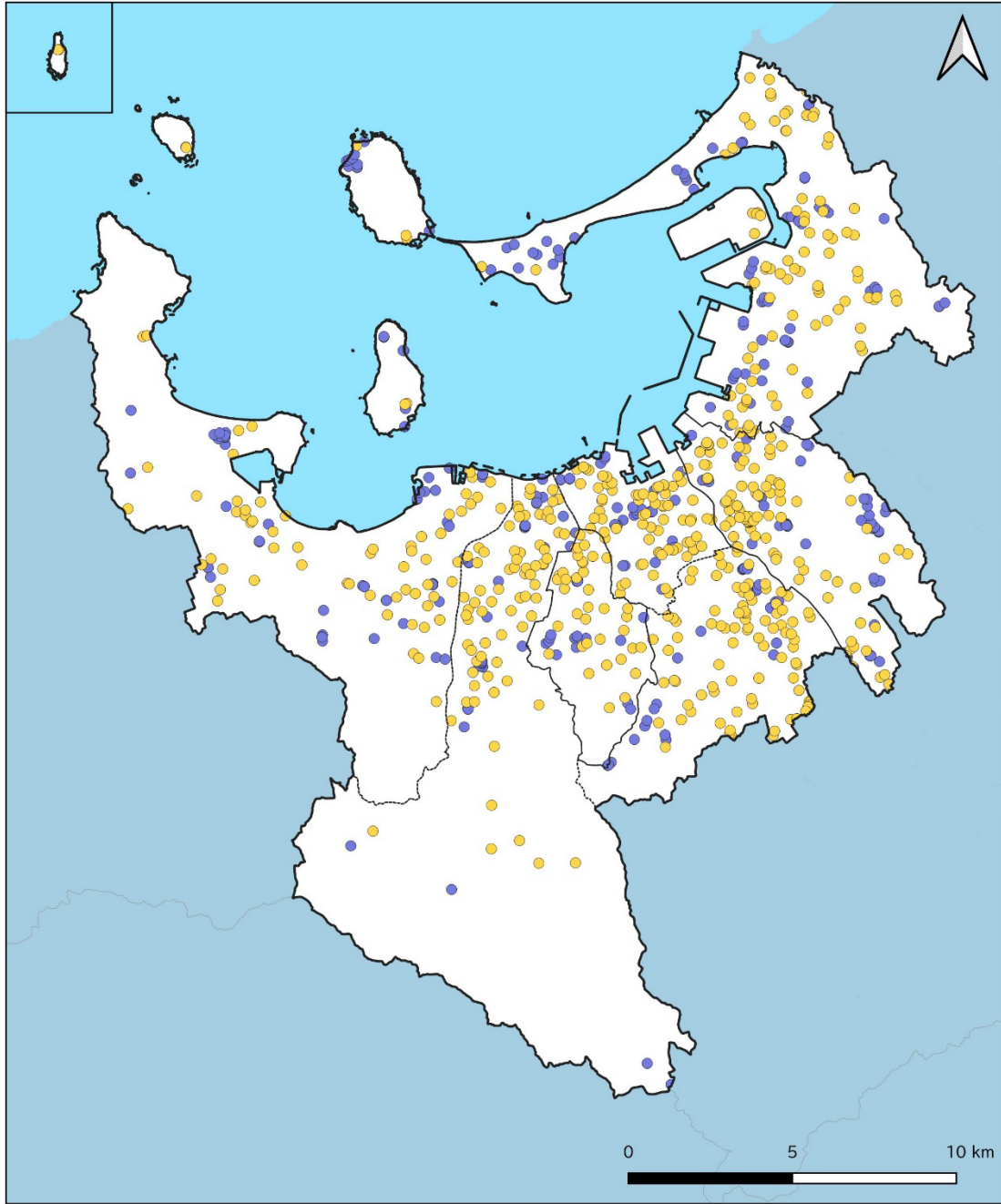


図 93 学校・文化施設の分布状況

(5) データの重ね合わせ例

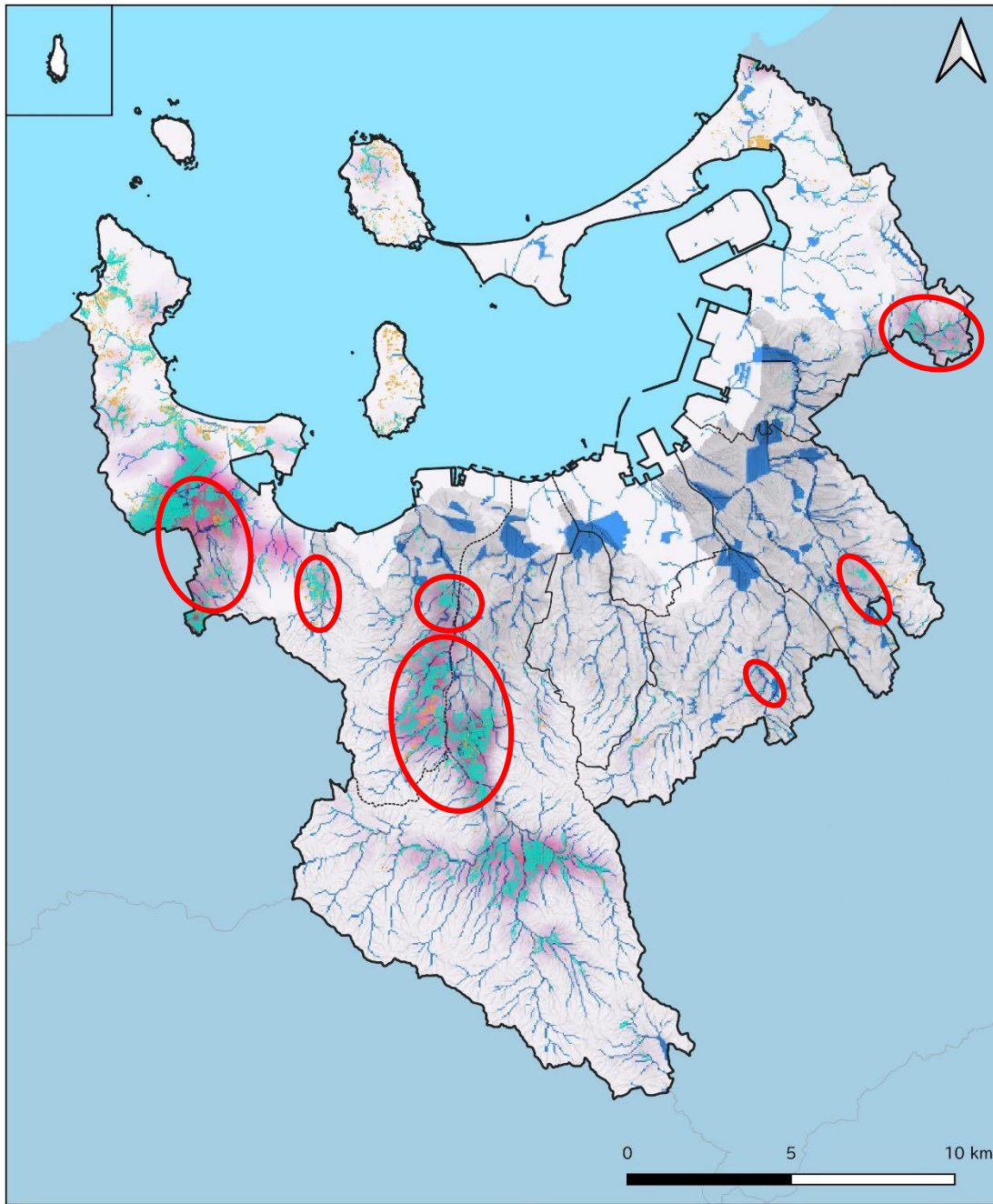
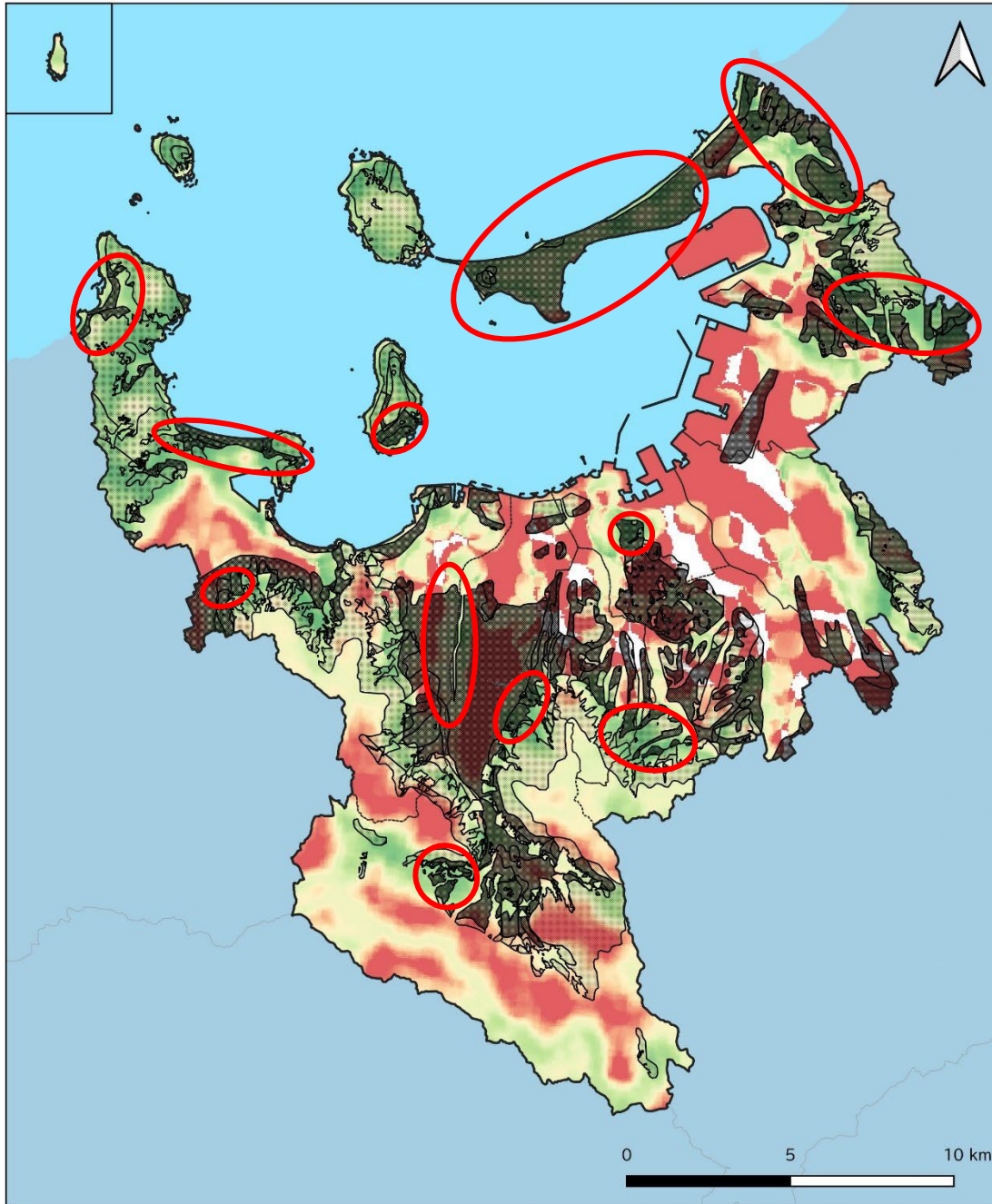


図 94 湿地としてのポテンシャル (TWI HAND) × 水田の占有率 × 農地の分布 (筆ポリゴン)
 【雨水の一次的な貯留ができ、生物多様性保全上も重要なまとまりのある水田を評価する場合】



凡 例

自然的景観の多様度
 0.844242
 0.109752

地形・地質から期待される雨水浸透機能
 01最適地
 02適地

福岡市域
 福岡市行政区域

図 95 自然的景観の多様度×地形・地質から期待される雨水浸透機能
 【雨水の浸透が期待でき、生物多様性保全上も重要な場所を評価する場合】

資料6 戦略策定までの流れ

1. 戦略策定に関する審議経過等

年月日	会議等・審議内容
2025(令和7)年 8月18日	令和7年度第1回 福岡市環境審議会環境保全・創造部会 ・生物多様性ふくおか戦略の改定について
11月5日	令和7年度第2回 福岡市環境審議会環境保全・創造部会 ・生物多様性ふくおか戦略の骨子案について
2026(令和8)年 2月4日	令和7年度第3回 福岡市環境審議会環境保全・創造部会 ・生物多様性ふくおか戦略の素案について
●月	策定

2.戦略策定体制

福岡市環境審議会委員(50音順)

氏名	役職等	備考
阿部 真之助	市議会議員	
石橋 勇志	九州大学大学院 農学研究院 教授	○
猪野 猛	福岡商工会議所 理事・事務局長	
今林 ひであき	市議会議員	○
大石 修二	市議会議員	
大森 一馬	市議会議員	
押川 千恵	独立行政法人国立病院機構福岡病院 耳鼻咽喉科 科長	○
包清 博之	九州大学 名誉教授	○
菊水 之恵	日本野鳥の会 福岡支部 幹事	○
小出 秀雄	西南学院大学 学術研究所長	
勢一 智子	西南学院大学 法学部 教授	会長
平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	
高木 勝利	市議会議員	
田中 綾子	福岡大学 工学部 教授	
中山 裕文	九州大学大学院 工学研究院 教授	
西下 尚樹	九州経済産業局 資源エネルギー環境部 次長	
野村 久子	九州大学大学院 農学研究院 准教授	○
萩島 理	九州大学 副学長・総合理工学研究院 教授	
林 灯	九州大学 エネルギー研究教育機構 教授	
原田 昌佳	九州大学大学院 農学研究院 教授	○
久留 百合子	リエゾンオフィス代表／消費生活アドバイザー	
松山 倫也	九州大学大学院 農学研究院 特任教授	○ (部会長)
馬奈木 俊介	九州大学大学院 工学研究院 教授	
森 あやこ	市議会議員	
山内 勝也	九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授	○
山田 ゆみこ	市議会議員	○

※1 ○は環境保全・創造部会委員

※2 2025(令和7)年7月末現在

資料7 前戦略の評価

1 評価方法

前戦略における5つの基本的方向に関連する指標等を設定し、個別に評価した上で、平均点をつけて総合評価を行いました。評価にあたっては、市民の意識に関する指標を用いるとともに、参考指標として、自然環境の状態（面積、種数等）や取組みの実施状況（参加者数、開催数等）など、主要施策の進捗状況を把握できる情報を活用しました。

(1) 指標の達成状況の基準

基準値からの増減でA～Cのランクをつけました。

ランク	基準
A	基準値よりも増加している、または目標値を達成できている
B	基準値からの増減が10%以内
C	基準値よりも減少している、または目標値を達成できていない

(2) 総合評価の基準

総合評価は、成果指標のA=3点、B=2点、C=1点とし、基本的方向1～5それぞれの平均点により星の数で評価しました。

平均点	評価（基準）	
2.5以上	順調に進捗している	★★★
1.5以上 2.5未満	概ね順調に進捗している	★★
1.5未満	進捗が遅れている	★

2 評価結果

(1) 総合評価結果

総合評価は以下のような結果になりました。

基本的方向	評価 (平均点)
1 生物多様性やその恵みに関する認識の社会への浸透	★★ (2.0)
2 人と自然の環境を改めて考えながら生物多様性の保全	★★ (1.7)
3 生物多様性から享受される恵みの持続可能な利用	★★ (2.0)
4 生物多様性に支えられる文化の継承と創造	★★ (1.7)
5 より広域な視野をもちながら地域の生物多様性を支える多様な主体や地域との連携	★★ (2.0)

(2) 基本的方向ごとの指標等の評価

基本的方向ごとに設定した指標および参考指標と、その評価結果は以下のとおりです。

基本的方向 1 生物多様性やその恵みに関する認識の社会への浸透				
方向① 市民が生物多様性を理解し、その保全の重要性を認識し、行動できるよう生物多様性を広く社会に浸透させます				
方向② ふくおかの魅力が生物多様性の恵みに支えられていることを理解し、重要性を認識できる人や組織の形成を支援します				
指標等 (●：指標、○参考指標)	指標値			評価
	現状値 (基準) (把握年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (把握年度)	
●生物多様性を理解し、その保全を意識して行動している市民の割合	14.7% (2012 (平成 24) 年度)	17.7% (2024 (令和 6) 年度)	35% (2024 年度)	C
○環境関連総合学習の実施校割合	86.9% (2012 (平成 24) 年度)	81.9% (2024 (令和 6) 年度)	-	B
○「ふくおかレンジャー」受講者数 (累計)	10 人 (2015 (平成 27) 年度)	219 人 (2024 (令和 6) 年度)	-	A

基本的方向 2 人と自然の環境を改めて考えながら生物多様性の保全
 方向③ 海洋、島しょ、干潟、平野、丘陵、山地、河川など、ふくおかの多様な生物の生息環境を守るとともに、中心市街地や港湾地域においては、再生・復元を行い、山、川、平野、海のつながりを確保します
 方向④ 動物、水生生物、植物などふくおかの貴重な生きものを守り、豊かな生物相の回復を目指します

指標等 (●：指標、○参考指標)	指標値			評価
	現状値 (基準) (把握年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (把握年度)	
○全市域における緑被面積	18,964ha (2012 (平成 24) 年度)	18,984ha (2022 (令和 4) 年度)	-	B
○特定外来生物の確認種数・定着種数	確認種数 11 種 定着種数 9 種 (2012 (平成 24) 年度)	確認種数 19 種 定着種数 14 種 (2024 (令和 6) 年度)	-	C
○貴重・希少生物等の確認種数	246 種 (2018 (平成 30) 年度)	255 種 (2023 (令和 5) 年度)	-	B

基本的方向 3 生物多様性から享受される恵みの持続可能な利用
 方向⑤ ふくおかの地理的特性を活かして生物多様性に配慮したまちづくりを推進します
 方向⑥ 安心して暮らせるふくおかの都市基盤をつくります
 方向⑦ 生物多様性の恵みを活かしてふくおかの魅力を増進します

指標等 (●：指標、○参考指標)	指標値			評価
	現状値 (基準) (把握年度)	実績値 (把握年度)	目標値 (把握年度)	
○全市域における緑被面積 【再掲】	18,964ha (2012 (平成 24) 年度)	18,984ha (2022 (令和 4) 年度)	-	B
○藻場面積 (今津・能古島・志賀島)	36,000m ² (2012 (平成 24) 年度)	25,500m ² (2020 (令和 2) 年度)	-	C
○直売所数	10 箇所 (2012 (平成 24) 年度)	16 箇所 (2023 (令和 5) 年度)	-	A

基本的方向 4 生物多様性に支えられる文化の継承と創造
 方向⑧ 生物多様性に育まれてきたふくおか固有の文化を継承します
 方向⑨ 生物多様性の恵みを活かして新たなふくおかの文化を創造します

指標等 (●：指標、○参考指標)	指標値			評価
	現状値（基準） （把握年度）	実績値 （把握年度）	目標値 （把握年度）	
○学校給食への市内産農水産物 利用割合	米：21.9% 野菜：31.1% (2015 （平成27）年度）	米：14.3% 野菜：31.8% (2023 （令和5）年度）	-	C
○シロウオの遡上状況 （漁獲量）	196kg (2012 （平成24）年度）	0kg【休漁】 (2023 （令和5）年度）	-	C
○自然の恵み体験活動申込者数	125人 (2023 （令和5）年度）	434人 (2025 （令和7）年度）	-	A

基本的方向 5 より広域な視野をもちながら地域の生物多様性を支える多様な主体や地域との連携
 方向⑩ ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域との協力関係を構築し、連携した
 取り組みを推進します
 方向⑪ ふくおかの生物多様性を支える多様な主体、多様な地域と連携していくための仕組みやル
 ールを構築します

指標等 (●：指標、○参考指標)	指標値			評価
	現状値（基準） （把握年度）	実績値 （把握年度）	目標値 （把握年度）	
○室見川水系一斉清掃への参 加申込者数	4,188人 (2012 （平成24）年度）	3,445人 (2024 （令和6）年度）	-	C
○水源の森づくり共働事業協 定団体数	2団体 (2012 （平成24）年度）	6団体 (2024 （令和6）年度）	-	A
○まもる一む等での交流会等 イベント参加人数	84人 (2019 （令和元）年度）	85人 (2024 （令和6）年度）	-	B